

Bell Forum

ベルフォーラム

2010
WINTER

No.27

地域と職員と共に栄えるチーム



九体寺（京都府木津川市）

撮影：周産期母子センター長 清水 郁也

●医療最前線：腫瘍内科の挑戦

●連載：登録医のご紹介

●TOPICS：第13回地域医療懇話会を開催

緩和ケア研修会を開催

中央内視鏡室・救急センター・外科外来を

リニューアル



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院

腫瘍内科の挑戦



部長 やな たかし
梁 尚志

Profile

昭和63年 大阪市立大学 医学部卒業
大阪市立大学医学部第1内科学教室 研修医
平成 2年 馬場記念病院 内科
平成 4年 大阪府羽曳野病院 第2内科
平成 9年 市立泉佐野病院呼吸器科 医長
平成14年 KKR大手前病院呼吸器内科 医長
平成16年 KKR大手前病院呼吸器内科・腫瘍内科 部長
平成21年 ベルランド総合病院 腫瘍内科 部長

資格

日本臨床腫瘍学会暫定指導医

ベルランド総合病院は、平成21年4月大阪府がん診療連携拠点病院に認可され、同年7月に腫瘍内科を開設しました。これにより、各診療科単独の医療いわゆる“縦だけの医療”から、各診療科の枠を超えた医療いわゆる“横の医療連携”を絡ませることが可能となり、患者さまのニーズに対応することがより一層可能になりました。

<がん治療>

外科的治療、放射線治療、および化学療法の本柱となっていますが、さまざまな治療法を組み合わせることで治療効果を高める治療法を『集学的治療法』と言います。当院では、各治療の専門医師が在籍しており、院内連携により最善の医療を提供しています。

<腫瘍内科>

当院の腫瘍内科は、主に肺がんの患者さまを中心に、消化器がん、乳がんなどの患者さまの治療を行っております。入院における化学療法はもちろんのこと、放射線治療の併用、さらには外来化学療法まで、幅広く患者さまのニーズに対応できるシステムを構築しております。

このような患者さまのニーズに対応できるようになったのは、

1. がん治療の進歩
2. がん治療に伴う副作用のコントロールが可能になった事があげられます。



外来化学療法室

1. がん治療の進歩

「がん治療」といえば、「気分が重々しく、ベッドから起き上がれないような苦しい治療」と思われがちですが、これまでのがん治療の常識を覆す新薬が開発されました。この『分子標的治療薬』を、従来の抗がん剤とうまく組み合わせることで効果が増強され、一方副作用は軽減されることが可能となってきました。

例) 上皮増殖因子受容体チロシンキナーゼ阻害薬

肺がんの中で、腺癌細胞にある上皮成長因子受容体の遺伝子変異が認められるタイプに有効とされています。効果の出現時期も早く、しかも副作用は軽微です。しかしながら、ごく一部で急性肺障害などの重篤な副作用も報告されています。写真は、同薬剤の著効例であり、長期生存を得ています。



治療開始前



治療2週間後

2. がん治療に伴う副作用のコントロール

がん治療に付随して起こる副作用を軽減する薬が開発され、QOL(生活の質)も維持されることで外来での治療も可能となりました。

例1) G-CSF

がん化学療法に伴う副作用の中で、血液検査上わかるものに白血球減少があります。G-CSFは、少なくなった白血球をより早期に回復させる作用を持っています。

例2) 5-HT₃受容体拮抗薬

患者さまにとって、悪心・嘔吐はがん化学療法の副作用の中で最もつらい症状の1つで、持続すると脱水など体力の低下を引き起こします。5-HT₃受容体拮抗薬の出現により、がん化学療法による悪心・嘔吐をかなりコントロールできるようになりました。

<患者さまへ>

上記のように、がん化学療法の進歩により、従来の「苦しく、つらい治療」という概念を覆す治療法の選択が可能となっています。

セカンドオピニオンにも対応しておりますので、遠慮なくご相談ください。

今回は北区中百舌鳥町にて開業していらっしゃいます岡院長をご紹介します。

診療科目：婦人科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30～12:30	○	○	○	○	○	○
17:00～19:00	○	/	○	○	/	/



住所：堺市北区中百舌鳥町5-797
TEL：(072) 252-2010 FAX：(072) 252-6117



おか ともこ
岡 知子 先生

Q1. 標榜科は何ですか？

Ans. 婦人科です。女性の一生に細く長くかかわれたらいいなと思っています。

Q2. 医師を目指した動機（きっかけ）は？

Ans. 産婦人科を開業する母が患者さんから感謝されている姿を見て、同じ仕事についてみたいと思いました。

Q3. 診察する際に心掛けている事は何か？

Ans. 一期一会を座右の銘にしています。お目にかかった患者さんには明るい気持ちになって帰宅していただきたいので、なるべくお話しする時間を取り「粗末な外来」にはならないよう努めています。

Q4. 地域医療について

Ans. 検診業務の多い外来で、患者さんの訴えがなくとも異常が見つかることも多く、そうしたケースを早急に高度医療の行える施設にお願いできるよう留意したいと思います。

Q5. 当院への希望・要望

Ans. 訳あって、突然堺で落下傘部隊のように開業する運びになり、助けていただいています。ことに周産期、乳腺外来の先生方にはお世話になっています。あまりお役に立てそうにないので、御面倒おかけしないよう心がけます。

Q6. 最後に一言お願いします

Ans. 予防医学を重要と考えて診療しています。婦人科は部位的に受診も難しいですが、なるべく敷居を低くして受診していただけるように考えています。なかなか思い通りの医療はかないませんが、今後ともご指導よろしく願いいたします。

第13回地域医療懇話会を 開催しました

地域医療連携室
リーダー 馬詰 厚

昨年末、12月19日に国際障害者交流センタービッグ・アイにおきまして、連携登録医の先生方や地域医療に携わっている医療関係者をお招きして「第13回地域医療懇話会」を開催させていただきました。今回は院外より37名、院内より61名の合計98名の参加をいただきました。第1部では各診療科部長による診療科紹介、スタッフの紹介、特色、展望等ご紹介いただく際に役立つ情報を発表させていただきました。



内視鏡外科 福長部長



呼吸器外科 井上部長



腫瘍内科 梁部長

第2部は、内視鏡外科の福長部長による「腹腔鏡下大腸手術の現状と最近の話題」と、腫瘍内科の梁部長による「肺がんの最新の話」について講演させていただきました。懇親会では、地域の先生方から多くのご意見を伺うことができ、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

年末の忙しい折、たくさんのご参加をいただきまして誠にありがとうございました。



登録医のご紹介

平成22年2月1日現在 登録医総数 **253件**

地区名		医療機関名	院長名
和泉市	室堂町	いしい内科クリニック	いしい ともふさ 石井 伴房
中区	深阪	山田クリニック	やまだ かつあき 山田 勝章
南区	城山台	にしがいと内科クリニック	にしがいと しんや 西垣戸 伸哉
西区	鳳中町	原田耳鼻咽喉科医院	はらだ まさひろ 原田 昌彦
東区	日置荘西町	梅山医院	うめやま じんいち 梅山 仁一
		中村医院	なかむら しろう 中村 志郎

(敬称略)

ベルランド総合病院 緩和ケア研修会

管理部 副部長 武部 克広

平成21年10月24日(土)・25日(日)の2日間、がん診療に携わっておられる地域の先生方23名(うち院外12名)を受講者に迎えて「第1回ベルランド総合病院・緩和ケア研修会」を開催いたしました。

厚生労働省は、がん対策推進基本計画(平成19年)にて「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことを目標に掲げ、平成20年4月には「緩和ケア研修会の開催指針」を定めるとともに、全国のがん診療連携拠点病院に定期開催を義務付けました。

(研修内容)

- ① がん性疼痛の機序、評価及びがん性疼痛に対する緩和ケア
- ② 呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケア
- ③ 不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケア
- ④ がん医療におけるコミュニケーション技術
- ⑤ 全人的な緩和ケアについての要点
- ⑥ 専門的な緩和ケアへの依頼の要点
- ⑦ がん患者の療養場所の選択及び地域連携についての要点
- ⑧ 在宅における緩和ケア

今回の研修会は、この開催指針に準拠した内容・プログラムで構成されており、修了者には厚労省認定の修了証書が交付されます。

研修会当日は、当院外科 藤尾部長(研修会企画責任者)の総指揮のもと講師・サポーター(総勢18名)による講義、グループワーク、ロールプレイなど全12セッションが分刻みで実施されました。受講者の皆様方にとっては大変ハードなスケジュールであったと思われませんが、1名も脱落することなく、閉講式では当院亀山院長より23名全員に修了証書が授与され、無事終了することができました。受講者の皆様、2日間お疲れ様でした。

これからも、当院は「大阪府がん診療拠点病院」として地域におけるがん医療水準の向上に貢献させていただきたく、平成22年10月16日(土)～17日(日)に第2回緩和ケア研修会を開催する予定でございますので、より多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。



JICA(ジャイカ)の研修生を

臨床研修室 課長補佐 満壽川 修



テオさん
看護部師長



イグナシオさん 病院長(救急医)
ロサリオさん 医療鑑査副部長 (小児科医)

平成21年10月28日(水)から30日(金)までの3日間、JICA(独立行政法人国際協力機構)とINFS(財団法人国際看護交流協会)が主催する病院管理コースの一環で、中南米からの研修員3名(医師はペルーのロサリオさんとパラグアイのイグナシオさん、看護師はエルサルバドルのテオさん)とスペイン語通訳・清瀬さんが病院研修のため来院されました。

このコースは、中南米8カ国のモデル病院の管理者を対象として、マネジメントの知識と実践力を向上させ、病院管理改善のための実施可能な計画を策定し実行することにより、病院の医療サービスの質向上を図るほか、将来これらのモデル病院が各国の病院管理に置いてリーダーとなり、他の病院管理者の助言・指導的な役割を果たすことを目標とし

て実施されています。

参加した研修員の方からは「3日間では短すぎる」といったコメントが寄せられるほど、当院での研修内容を高く評価していただきました。

今回の外国人研修員向けの研修を通じて、国は違っても同じ医療従事者同士で通じ合うものがあるのを感じたと同時に、言葉を越えた心温まる交流ができました。

受け入れました

このたび、日々変わりゆく医療ニーズに対応するために、外来部門である救急室、内視鏡室、外科外来をリニューアルしましたのでご紹介させていただきます。

外来科長 榎山 久美



救急センター

昨年12月下旬に、救急室を3床から5床に増床しました。既存の廊下を取り込むことによって、フロア全体が見わたせる広いスペースを確保できました。

患者様が救急室で治療を受けられる間、ご家族も不安でいっぱいと思います。重症患者のご家族のプライバシーを守るため、家族待合室を新たに設置しました。



家族待合室



中央内視鏡室・救急センター ・外科外来をリニューアル



中央内視鏡室



昨年10月、検査や治療の内容により実施場所が分散していた内視鏡業務を統合新設し、西棟地下1階に「中央内視鏡室」としてオープンしました。

4室ある検査室のとなりに観察室を設け、前処置はもとより、処置後も専門のスタッフが安全を確認することができるようになりました。

これに伴い、以前に内視鏡室があった場所に外科外来が移室しました。

リニューアルされた外来で、今後も患者様の安全・安心を確保できるよう、一層努力してまいります。



緩和ケア認定看護師

外科病棟
石川 奈名



緩和ケア認定看護師とは

緩和ケアとは、治癒が困難な進行性疾患の患者様の苦痛な症状や心理社会的な課題に対して苦痛を緩和し、最後の瞬間まで生きることを支え、患者様とご家族の生活の質が向上することを最大限に追求するケアです。そのため、以下の1. 科学的根拠に基づいた苦痛症状の緩和及び療養の場に応じた患者様・ご家族のQOLの向上

2. 患者様とご家族の悲嘆ケア知識と技術を学びました。

現在、緩和ケア認定看護師は国内で75名が取得、うち大阪では51名が認定されています。

当院での

緩和ケア認定看護師

としての活動

平成18年に厚労省の「がん対策基本法」が打ち出され、がんの予防とがん医療の均てん化促進への政策が打ち出されました。そのなかで「治療初期段階からの緩和ケアの実施」という項目があり、緩和ケアの実践が必須とされています。当院の昨年のがん登録者数は、45名で

増加の一途をたどり、昨年、『大阪府がん診療拠点病院』の認可を受けました。

また、平成15年より院内相談型の『緩和ケアチーム』を設立し、現在では週1回に院内ラウンドを行っています。症状緩和に関する依頼だけではなく、告知に関する問題やご家族へのケア、また療養場所に関する問題などの依頼も受けております。

さらに、緩和ケアチーム内でプロジェクトチームを組み、院内教育、在宅療養支援、院外との連携、告知に関するケア、看取りへのケアなど様々な課題に取り組んでおります。



緩和ケアチームスタッフ

これらのチームにおける『緩和ケア認定看護師』としての役割は、他職種や看護師との調整し、病棟看護師の相談役や指導、必要時には患者様とご家族の面談を行っております。

生死を考える患者様やご家族の苦痛が、人生経験が未熟な私たち医療者に何ができるか…とその患者様やご家族が抱える大きな課題や問題に対して、正解といえる答えや判断は難しいことが多々あります。しかし、その苦悩をもつ患者様やご家族に「医療者として」また「出会えたひとりの人間として」すべて解決することはできないと私自身がわかった上で、患者様の価値観を大切に、最期まで一緒に考えさせてほしいという思いでこの緩和ケアを実践しています。

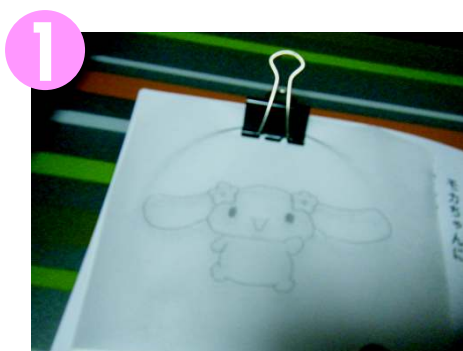
緩和ケアの現場では、その一人一人の力が必要になると考え、病院内だけではなく、地域連携も重要でありコミュニケーションとして広げられるよう努力したいと思っております。

わたしの キャラチョコ作り

キャラチョコとは…そのままなのですが、キャラクターの形をしたチョコレートの事です。
お誕生日・ひなまつり・クリスマスなどなど、ちよこっとひと手間♪ひと工夫♪



■準備するもの
クッキングシート
サインチョコ(100円SHOPにも売っています)
下絵、つまようじ、鉛筆



1 クッキングシートを適当な大きさに切り、下絵を用意して鉛筆で書き写す



2 クッキングシートをひっくり返し、チョコペンで線をなぞる

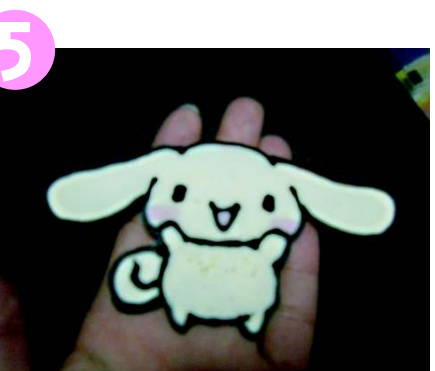


3 固まったら中に色チョコペンで色を入れていく

POINT
下絵を
チェック!



4 3で全色塗って固まったら補強のためのチョコを重ね塗ります



5 冷蔵庫で完全に固まるまで冷やし、シートからゆっくりはずし完成です



6 これをケーキに乗せればキャラケーキの出来上がり♪



*一色づつ塗った後に冷蔵庫などで冷やし固めて作業すると綺麗に仕上がります
*はみ出してしまった場合は少し固まってから爪楊枝などで切り取ると色が混ざらず綺麗に処理できます

今回はキャラクターで作りましたが、似顔絵や文字なども書けるので、お子様やお孫さんと一緒にお絵かき感覚で楽しんだり、おじいちゃんやおばあちゃんの似顔絵などを書いてプレゼントしたり…自分だけのチョコ作りをお楽しみ下さい♪



臨床研修室
木津 昌子

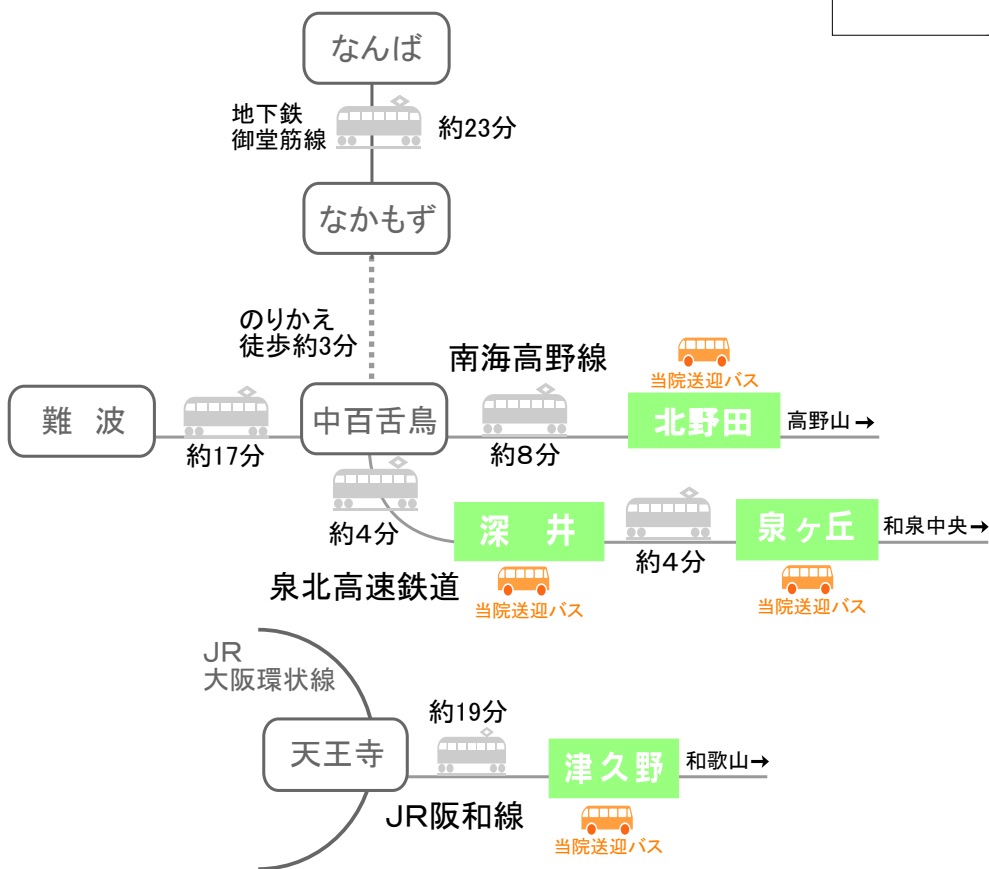
交通のご案内



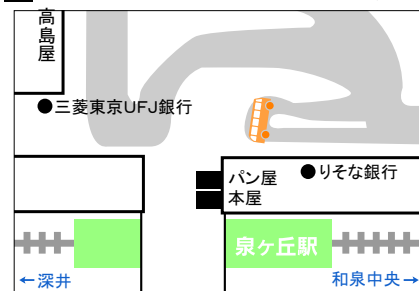
NEWS

平成22年1月16日より、
津久野・深井駅回り送迎バスが
1時間に1本に増便いたしました!

病院周辺MAP



■ 泉ヶ丘駅 送迎バス乗り場

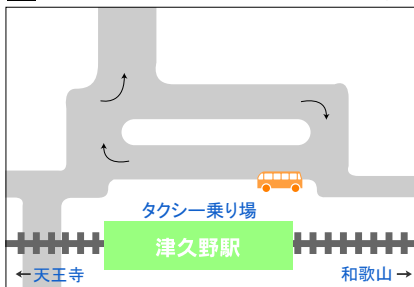


【泉ヶ丘駅発 ペルランド総合病院行き】
7:30~13:45まで毎時00・15・30・45分発
14:00~19:30まで毎時00・30分発

【ペルランド総合病院発 泉ヶ丘駅行き】
7:20~13:50まで毎時05・20・35・50分発
14:20~19:20まで毎時20・50分発

※南海バス(東山車庫前・深井駅行き)は、
1時間あたり約2本出発

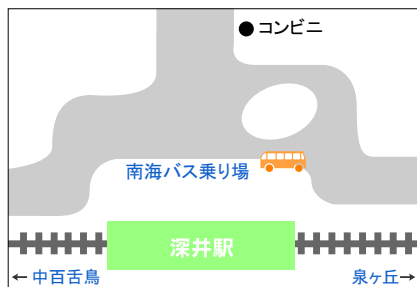
■ 津久野駅 送迎バス乗り場



【津久野駅発 ペルランド総合病院行き】
8:20~15:20まで毎時20分発

【ペルランド総合病院発 津久野駅行き】
8:00~15:00まで毎時00分発

■ 深井駅 送迎バス乗り場

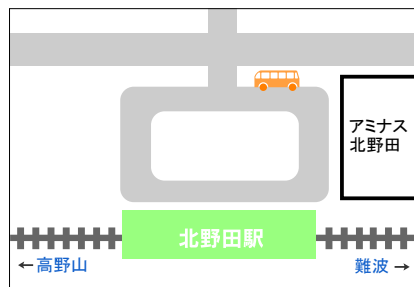


【深井駅発 ペルランド総合病院行き】
8:35~15:35まで毎時35分発

【ペルランド総合病院発 深井駅行き】
8:00~15:00まで毎時00分発

※南海バス(泉ヶ丘駅・あみだ池行き)は、
1時間あたり約3本出発

■ 北野田駅 送迎バス乗り場



【北野田駅発 ペルランド総合病院行き】
8:45~17:15まで毎時15・45分発

【ペルランド総合病院発 北野田駅行き】
8:30~17:00まで毎時00・30分発

※南海バス(西区役所前・東山車庫前・深井駅行き)は、
1時間あたり約3本出発

Bell Letter

地域医療連携室では、以下の業務を行っています。

- ①診察・検査の予約
- ②入院の受け入れ
- ③診療情報提供書の返信チェック
- ④当院からの逆紹介
- ⑤共同診療の運営・管理

①②に関しましては、医師への確認・院内調整を行い、
予約票（来院日時）を作成しFAXにてご報告いたします。

その他、ご依頼等がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

地域医療連携室業務時間

月～金曜日（午前9時～午後8時）
土曜日（午前9時～午後5時）

医療機関様専用

TEL：0120-13-9215（直通）

FAX：0120-53-0096（直通）

一般の方は、代表番号(072-234-2001)におかけ下さい。